



# 55 神の森大橋

お  
お  
は  
し

## DATA・BOARD 55

- ①愛媛県伊予郡広田村総津
- ②延長：26.4m、幅員：5.0m
- ③橋梁
- ④スギ・ベイマツ材ほか



広田村の神の森地区は、かつて鉱業と林業が盛んだったところで、周辺を公園とする整備が進められている。

「神の森大橋」は、国道から神の森公園に通じる林道の入り口に設置されたもので、林業が村の基幹産業であることから、地場産の木材を活用した木造橋で建設されている。橋の主要部分に木材を使用していることから、風雨による破損対策や景観保全上、路面舗装などに工夫を凝らしており、木造橋としては珍しく大型車の通行も可能な最新技術を結集した構造になっている。

開通後は、公園のシンボリックな存在になっており、小中学校の社会科や生活科の授業に取り上げられ、木のすばらしさや林業の貴重さを教える教材にもなっている。